

農業農村整備事業等事後評価地区別結果書（案）等資料

農村地域防災減災事業（用排水施設等整備事業）

しずさと  
「静里地区」

（岐阜県大垣市）

# 農村地域防災減災事業

## 事業目的

自然及び社会経済的環境の変化に対処して、農用地、農業用施設に係る自然災害の発生を未然に防止し、又は農業用排水の汚濁や農用地の土壤汚染を防止し、若しくは地盤沈下等により低下した農用地・農業用施設の機能回復を図ること等により、農業生産の維持及び農業経営の安定を図り、もって国土及び環境の保全に資する

## 事業内容

1. 防災・減災対策にかかる計画の策定（調査計画事業）
  - ・地域の防災減災対策に必要な諸条件に関する調査・農村地域防災減災総合計画の策定等
2. 農業用施設等の整備（整備事業）
  - ・自然的・社会的要因で生じた農業用施設等の機能低下の回復や災害の未然防止を図るための整備、防災機能を維持するための長寿命化対策の実施、切迫する南海トラフ地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝地震等の発生を見据えた防災インフラの整備等



# 農村地域防災減災事業(用排水施設等整備事業)【静里地区】

## 事業の概要

### ○目的

本地区は、岐阜県大垣市の北西部に位置し、東側を一級河川杭瀬川、西側を大谷川に接した輪中低平地に広がる都市近郊の農業地帯であり、水稻を中心に水田の畑利用による小麦、大豆、ブロッコリー等を組み合わせた営農が展開されている。

本地区の静里排水機場は、県営かんがい排水事業により昭和35年に設置され、さらに、昭和54年及び平成10年の県営湛水防除事業により排水機場が増設され、地区内の排水対策が確立された。

しかし、その後の地区内の開発による流出量の増加、排水河川の水位上昇による内外水位差の増大、耐用年数経過による排水機場の機能低下から既存の排水施設では対応が困難となり、年々洪水被害が増大していた。

このため、排水機場を整備することにより、湛水被害の発生を未然に防止することによって、農業生産の維持及び農業経営の合理化と、地域住民の生活の安全・安心に資するものである。

### ○概要

事業名 農村地域防災減災事業  
(用排水施設等整備事業)

地区名 静里地区

関係市名 岐阜県大垣市

事業費 1,030百万円

事業工期 平成22年度～平成29年度

受益面積 85ha

主要工事 排水機場1箇所



## 事業の実施状況と効果

### 施設の整備状況

### 静里排水機場の改修

#### 事業実施前



平成20年頃

#### 事業実施後



令和5年

### 事業の効果

※総費用総便益比 8.81

#### ◎排水機場の改修により湛水被害を防止

○平成30年7月に、計画降雨量(294mm/3日)と同程度の雨量(295mm/3日)が観測されたが排水機場を改修したことで、湛水被害は発生しなかった。

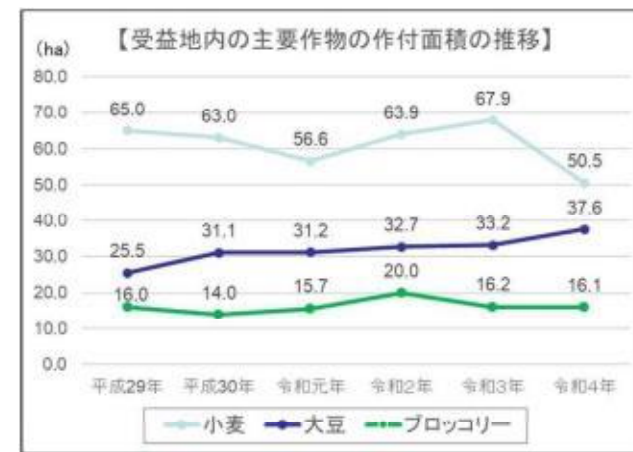


平成16年10月  
台風23号による被害状況

#### ◎農業経営の安定に寄与

本事業の実施により、湛水被害の不安が解消されたことから、本地区の主要作物である水稻のほか、**小麦、大豆、ブロッコリー等の畑作物の安定生産が可能**となっている。

注)本地区内の主たる農業経営体(2組織)に聞き取った作付面積のため、受益外も含まれた面積である。



農村地域防災減災事業「静里地区」 概要図



